

徳島県議会議員

古川ひろし とくしま通信

皆様の声を、徳島を動かす力に。
その架け橋をめざして。

VOL.5

令和2年2月15日発行

「県立障がい者交流プラザ」の 福祉避難所指定が実現!

気候変動に伴う巨大台風や豪雨、そして南海トラフ巨大地震等への備えは、県民の命を守る重要課題です。議会でも災害弱者を受け入れる福祉避難所の強化を訴えた結果、2019年3月15日に徳島県と徳島市、県社会福祉事業団の3者によって「県立障がい者交流プラザ」を福祉避難所に指定する協定が結ばれ、災害時における要配慮者等への支援を拡充することができました。



有害鳥獣対策の狩猟者を育てる ハンティングスクールが開校!

徳島では野生鳥獣による農作物被害額が毎年1億円を超えるなど、早期対策を求める声が県内各地で上がっていました。県森林整備課の職員としての経験を活かし、県猟友会などと狩猟者の担い手確保について意見交換を重ねるとともに、ハンターになるための労力や費用負担の大きさ等について議会で言及した結果、2019年7月に「とくしまハンティングスクール」が開校。狩猟者の担い手確保を目的とした取り組みにつながっています。



古川広志 プロフィール

(ふるかわ ひろし)

- 生年月日 昭和36年(1961年)8月12日
- 出身地 徳島県阿南市那賀川町
- 現住所 徳島県徳島市住吉2丁目7-19
- 家族 妻(ひとみ)と2人家族
- 現党職 公明党徳島県本部 幹事長

●経歴

- 昭和49年 平島小学校 卒業
- 昭和52年 那賀川中学校 卒業
- 昭和55年 富岡西高校 卒業
- 昭和59年 創価大学経済学部 卒業
- 昭和59年 徳島県庁入庁 平成26年退職
- 平成27年 徳島県議会議員に初当選
- 平成30年 徳島県監査委員
- 平成31年 徳島県議会議員に2期目当選

- 県議会 〒770-8570 徳島市万代町1-1
TEL 088-621-3034 FAX 088-621-2814

- 事務所 〒770-0861 徳島市住吉2丁目7-19
TEL・FAX 088-612-7118
携帯電話 080-5661-7372
h_furukawa_houmi@yahoo.co.jp

- 古川ひろし ホームページ
<http://hiroshi-furukawa.jp>

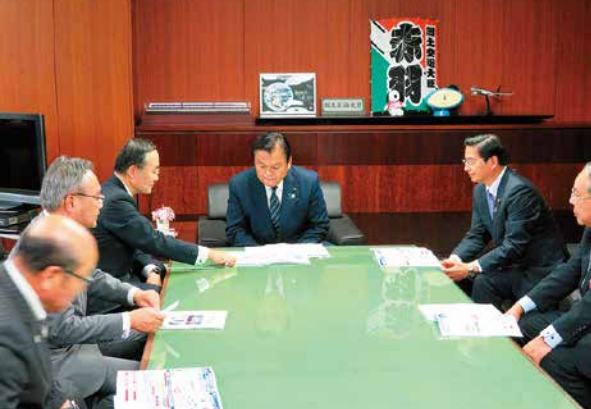


徳島県議会 令和元年9月 定例会 一般質問

9月議会では、夏の阿波踊りの誘客策の拡充をはじめ、県の認知度アップの対策や、児童相談所の体制強化など、徳島の未来づくりに向けた質問を行いました。



協町高校生との意見交換会に参加



赤羽国土交通大臣に徳島自動車道の4車線化の早期実現を要望



JRの維持に関して北海道議会と交流



エシカル甲子園に出場の城西高校生と懇談

夏の阿波踊りの誘客策拡充について

質問 全国阿波おどり会場におけるPR拡充や関連イベントの拡充、宿泊場所確保の取組み、県補助金の拡充を行ってはどうかと考えるが、所見を伺いたい。

答弁 [知事] 阿波おどりは本県が世界に誇る伝統芸能であり、観光戦略上においても欠かすことのできない観光資源です。今後とも「日本の祭りは阿波おどり」と評されるよう、関東三大阿波おどり会場でのPRの充実や香港・台湾など国内外での情報発信を強化し、官民挙げて期間中の周遊性向上、滞在期間の長期化などに取り組んでまいります。



県の認知度アップの対策について

質問 本県の認知度向上に向け、首都圏の情報発信拠点である東京本部が、首都圏の阿波おどり会場での情報発信や地元住民との関係強化を図ってはどうか。

答弁 [政策創造部長] 首都圏では現在、数十万人から数百万人規模の集客力を持つ阿波おどりが開催されています。今後も首都圏各地で実施される阿波おどりイベントと連携しながら観光や食、移住など本県の情報発信に努め、地元の方々とのより緊密な関係づくりに一層の創意工夫を凝らし、観光誘客や徳島ファンの拡大につなげてまいります。



児童相談所の体制強化について

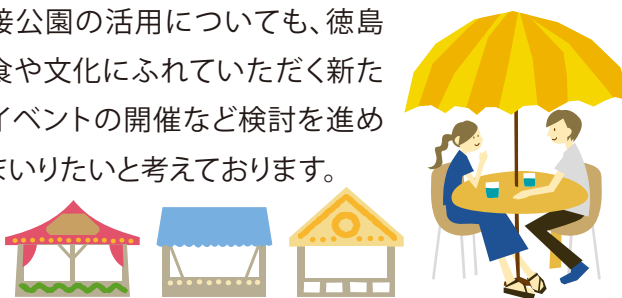
質問 児童福祉法等の改正に伴う児童相談所の体制強化策を、できるだけ早期に徳島ならではの充実した内容で取り組むべきと考えるが、所見を伺いたい。

答弁 [知事] 全国的に児童相談所における虐待相談対応件数が増加の一途をたどり、専門的な相談・支援体制の強化が不可欠です。県でも児童相談所を核とし、市町村をはじめとした関係機関との連携のもと、子どもたちの命を守り、安全確保を最優先に支援を行うことで「SDGs」が掲げる「誰一人取り残さない社会」の実現に向け取り組んでまいります。



質問 東京渋谷にある、県の情報発信拠点「ターンテーブル」を核としたPRとして、例えば隣接公園を活用した定期的催しを実施してはどうか。

答弁 [農林水産部長] 地域住民の集いの場である「神泉児童遊園地」が隣接しているメリットを活かし、施設オープンに先立つPRイベントや地元町内会と連携したお花見イベントなどを実施してまいりました。隣接公園の活用についても、徳島の食や文化にふれていただく新たなイベントの開催など検討を進めてまいりたいと考えております。



若者の政治的意識の向上策について

質問 若者が自分たちで政策立案し、若者自らが企画・実施する予算を確保することで政治的意識の向上を図ってはどうかと考えるが、所見を伺いたい。

答弁 [県民環境部長] 青少年をはじめとする若者は徳島の未来を担うかけがえのない存在であり、次世代を生きる若者の意見を積極的に取り入れていく必要があると認識しております。まずは今年度のフューチャーセッションによる「アイデアを具現化する手法の習得」を特に重視し、若者の政治的意識の向上につながるよう取り組んでまいります。



あおり運転の取締り強化について

質問 あおり運転の取締りを強化し、運転免許の停止処分など厳正な対応を行うとともに、その対処方法を県民に周知すべきと考えるが、所見を伺いたい。

答弁 [警察本部長] あおり運転は交通の安全と円滑を阻害することはもとより、重大事故に発展する危険性が高いことから、県警察としましては厳正な取締りや迅速かつ積極的な行政処分の実施等を行っております。今後も関係機関・団体と連携した広報啓発及び安全教育等の総合的な取り組みを一層推進し、違反行為の絶無に努めてまいります。



休眠預金等の活用推進について

質問 休眠預金等活用の実行団体が本県で選定されない事態が起こらないよう、最大限の推進体制整備を早急に進めるべきと考えるが、所見を伺いたい。

答弁 [政策監] 休眠預金の民間公益活動への活用につきましては財政基盤の強化に大きな効果があることから、まさに時宜を得たご提案であると考えております。県においてはインターネットやNPO法人が集まるフォーラム等の機会を利用して制度周知を図るとともに、新たに休眠預金活用窓口を設置するなど早急に体制強化を図ってまいります。



高速道路開通に伴う渋滞対策について

質問 徳島東IC・津田ICから市街地等へのアクセス道路となる沖ノ洲徳島本町線および津田インター線をはじめとする渋滞対策を検討すべきではないか。

答弁 [県土整備部長] 市街地を通過するアクセス道路の渋滞対策につきましては、県道徳島環状線の末広・住吉工区における高架道路の伸延や、末広道路と新浜・八万工区を直結する道路整備に加え、マリンピア沖洲における南北の臨港道路を順次整備し、道路ネットワークの構築を進めることで、引き続き「交通の分散」等を図ってまいります。



地域の魅力や思いを活かしながら 徳島に新しい風を吹かせたいですね

株式会社ネオビエント 代表取締役 藍原 理津子 さん



徳島から元気な未来を創る

徳島には世界に誇れる文化、自然、産業、食など多くの魅力があります。ネオビエントでは「徳島から元気な未来を創る」をキャッチフレーズに、徳島に新しい風を吹かせるための事業を行っています。あすたむらんど徳島や渦の道をはじめとする施設の管理運営や、これまでのノウハウを活かしたファミリー向けのイベント事業、とくしまマルシェの開催などもその一つです。



ファミリー向けイベント「子ども自動車教習所」

阿波おどりの豊かな未来のために

2019年度からは、徳島の一大イベントである阿波おどりを3社の共同事業体が運営することとなり、当社も委託業者として選ばれました。以前から地域の観光振興に深く関わり、阿波おどりに対しても民泊の推進や当日のボランティア清掃などに力をそそいできた古川議員にいろいろと相談に乗っていただいたおかげで、今後の心構えや運営方針を再確認することができました。

地方創生の熱意を受け継いで

阿波おどりの運営に関しては、駐車場不足によるアクセスの問題など取り組むべき課題も多くあります。まずは地域の方々のご協力を仰ぎながら、踊り手、支える人、観光客のそれぞれが笑顔になっていただける「三方よし」を目指してまいります。「徳島を少しでも良くしたい」という熱意を持って行動される古川議員には、今後もお力添えをいただければと思います。

活動状況

暮らしに寄り添いながら、笑顔を増やしたい。

●水門工事への要望

神部ミヨ子 さん

水門工事による周辺地域への影響は、近隣住民の大きな悩みとなりました。住民とともに国土交通省に出向き、一緒に要望を伝えてくださった古川議員に感謝しています。



●難病者の食事方法の改善

大松敦子 さん

娘のために新しい経管栄養法を用いた食事のサポートを支援学校にお願いしたところ、認めてもらえなかったため、古川議員が教育委員会などに何度も掛け合ってくださいました。



●路面の水たまりを解消

福井康子さん(右)と母の富江さん

雨が降るたびに通学区域の路面に大きな水たまりができ、通行に支障を来していました。古川議員に相談したところ即座に対応していただき、数カ月後には問題が解決しました。

